

令和9年度

# 学生募集要項

看護学研究科看護学専攻 修士課程



三重県立看護大学大学院

Graduate School, Mie Prefectural College of Nursing



# 目 次

1	教育理念	3
2	教育目標	3
3	アドミッション・ポリシー	3
4	カリキュラム・ポリシー	5
5	ディプロマ・ポリシー	6
6	教育研究分野及び問い合わせ先	7
7	履修方法	8
8	修了要件	8
9	一般入試	9
■ 1	募集人員	9
■ 2	出願資格	9
■ 3	出願期間	10
■ 4-1	出願方法	10
■ 4-2	個別の出願資格審査	12
■ 5	出願先	14
■ 6	受験票について	14
■ 7	就学に関する特別措置	14
■ 8	選抜方法等	15
■ 9	合格発表	16
10	機関長推薦入試	17
■ 1	募集人員	17
■ 2	推薦要件・出願資格	17
■ 3	出願期間	18
■ 4	出願方法	18
■ 5	出願先	19
■ 6	受験票について	20
■ 7	就学に関する特別措置	20
■ 8	選抜方法等	20
■ 9	合格発表	21
■ 10	連携協力協定締結機関	21
11	学内推薦入試	22
■ 1	募集人員	22
■ 2	推薦要件	22
■ 3	出願期間	22
■ 4	出願方法	23
■ 5	出願先	24
■ 6	受験票について	24
■ 7	就学に関する特別措置	25
■ 8	選抜方法等	25
■ 9	合格発表	26
12	共通事項	27
■ 1	出願書類の記入例及び記入上の注意	27
■ 2	試験場・入学手続場所案内図	31
■ 3	入学手続	33
■ 4	初年度納付金	34
■ 5	個人情報の取扱いについて	34
■ 6	個人別評価の提供	35
■ 7	過去問題の公開	35

## 参考

三重県立看護大学大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の授業科目及び履修要件…… 37

添付書類（以下の各書類が綴じ込んであるかを確認してください。）

A票	入学志願票	出願書類一式
B票～D票	写真票、受験票兼領収書、原符	
E票	志願理由書	
F票	推薦書（機関長推薦）	
G票	推薦書（学内推薦）	
H票	受験票返送用封筒	
I票	連絡用宛名票シール	
J票	出願用封筒	
.....		
K票	出願資格審査申請書	一般入試の出願資格(10)(11)による資格審査用
L票	課題論文（出願資格審査用）	

#### 一般的注意事項

- 1 この募集要項には、出願から入学までの諸手続を詳しく記載してあります。内容を取り違えることがないようによく読んでください。
- 2 試験当日には、試験場やその周辺で、合格電報の勧誘や物品の販売等を行っていることがありますが、これらの行為は三重県立看護大学とは関係がありません。不当な料金を請求される等のトラブルに巻き込まれないよう十分注意してください。そのような事故が生じても、本学は一切責任を負いません。

## 1 教育理念

崇高な人間性と幅広い視野を基盤に、学際的で広範な視点から看護学の学識を教授し、卓越した看護実践能力及び先駆的な研究能力を持つ人材を育成し、もって県民の健康で豊かな生活の創造と看護学の発展に寄与します。

## 2 教育目標

### 1. 多様な看護ニーズに応えうる高度専門職業人としての看護実践者の養成

多様化・複雑化・高度化する看護ニーズに的確に対応していくには、看護の特定分野における看護実践能力や総合的な調整能力を有する人材が求められています。

看護基礎教育の大学化進展の状況を踏まえ、より専門性・独創性を重視した大学院教育を行い、高度専門職業人としての看護実践者を養成します。

### 2. 看護の質の向上に寄与する看護管理者の養成

医療技術の高度化、保健・医療・福祉施設の多様化、在宅療養者の増加等、近年の看護ケアの形態の多様化は従来の看護管理のあり方のみでの対応を困難にしています。

また、チーム医療の普及、保健・医療・福祉を担う専門職の多様化、介護保険制度の導入等からも、看護管理者には看護専門職者としての総合的な調整力が求められます。

多様な施設や地域社会において看護を有効に機能させ、看護の質の高度化を図るため、高度な看護管理能力、指導力、総合的調整力を有する看護管理者を養成します。

### 3. 看護教育者・看護学研究者の養成

看護の質の向上のためには、看護教育・研究の充実が不可欠です。しかしながら、看護基礎教育の大学化の急速な進展の中で看護職員の不足は既に顕著であり、看護の専門分野における豊かな知識と高度な研究能力を有する資質の高い看護教育者や研究者を養成することが急務となっています。

看護学教育・研究の中核機関として、看護教育を担う人材を養成するとともに、地域の特性や変化する社会のニーズに的確に対応した看護学教育研究の推進による看護学の発展に寄与する研究者を養成します。

## 3 アドミッション・ポリシー

### 【求める学生像】

本研究科は、看護の発展および質の向上に寄与する人材として、看護学の研究者・教育者・管理者、ならびに多様化・高度化する看護ニーズに対応できる高度な専門性を備えた看護実践者の養成を目指し、修士論文コース、臨地教育者コース、専門看護師コースを設置している。各コースでは、次のような資質を有する人を求める。

1. 修士論文コースにおいては、看護実践上の課題に対して主体的・自律的に探求しようとする姿勢を有している人
2. 臨地教育者コースにおいては、看護教育に対する関心と展望を持ち、将来、臨地における教育者として社会に貢献しようとする意志を有している人

3. 専門看護師コースにおいては、看護の特定分野における高度な知識および技術の修得を目指し、多様化・複雑化・高度化する看護ニーズへの対応に意欲と使命感を有している人
4. 上記各コースに共通して、共感的かつ援助的なコミュニケーション能力を有し、論文作成や看護学をより深く学修するために必要となる学士課程卒業レベルの基礎知識を有している人

#### 【入学までに身につけておいてほしいこと】

- ・看護学領域に対する広範な知識と論理的思考力
- ・豊かな人間性と倫理観、ならびに主体的・自律的に看護学分野の研究に取り組む意欲や態度
- ・研究に関する基礎的知識および基本的な言語運用力
- ・生涯にわたり、看護専門職者や教育者として研鑽を続け、社会に還元する意欲

#### 【入学者選抜の基本方針】

求める学生を受け入れるため、受験者の知識、能力および意欲や態度を総合的に評価することで、入学者を選抜する。

##### 1. 一般入試

〈選抜方法〉

- ・小論文（看護学一般および志望する分野別科目に関する小論文）の得点、面接試験の結果および志願理由書等の記入内容を総合して評価する。
- ・小論文では、看護の専門的知識および看護や健康に関わる現状・課題等に対する認識、専門分野への理解力、文章構成力、論理的思考力を総合的に評価する。
- ・面接試験では、志望するコースで学ぶ意欲や態度・適性・目的意識・看護に関する課題への探究心・研究遂行能力・今後の展望等を総合的に評価する。加えて、専門看護師コースでは、志望する特定分野における課題等、臨地教育者コースでは、臨地教育における現在の取り組み状況や課題等についても質問を行う。

##### 2. 機関長推薦入試

〈選抜方法〉

- ・面接試験の結果および志願理由書や推薦書等の記入内容を総合して評価する。
- ・面接試験では、志望するコースで学ぶ意欲や態度・適性・目的意識・看護実践に関する課題への探究心・研究遂行能力・今後の展望等を総合的に評価する。加えて、専門看護師コースでは、志望する特定分野における課題等、臨地教育者コースでは、臨地教育における現在の取り組み状況や課題等についても質問を行う。

##### 3. 学内推薦入試

〈選抜方法〉

- ・面接試験の結果および志願理由書や推薦書等の記入内容を総合して評価する。
- ・面接試験では、大学院で学ぶ意欲や態度・適性・目的意識・看護に関する課題への探究心・研究遂行能力・今後の展望等を総合的に評価する。

## 4 カリキュラム・ポリシー

本研究科の教育は、豊かな人間性と高い倫理観を基盤として、多様化・複雑化・高度化する地域特性や社会変化に応じた看護ニーズを的確に捉え、現場の様々な課題を探求する能力と教育能力を育成する。これらの能力を修得することができるように次のように分野を構成し、教育課程を編成・実施する。教育課程の編成・実施にあたり長期履修生が3年間の修業期間において計画的に履修できるように科目の設置および配置を行う。

また、教育課程の実施にあたっては、学生の主体的な学修を促す教育方法を導入し、そのための環境づくりを行う。さらに、学修成果は、学位授与方針に基づいた各授業科目の到達目標に対する達成度で評価するとともに、各分野の特別研究・課題研究は、審査委員会により学位論文の審査及び最終試験を行ったうえで、研究科委員会で学位授与の可否を決定する。

1. 教育研究分野としては、「実践基盤看護学」「看護教育学」「看護管理学」「母性看護学」「小児看護学」「成人急性期看護学」「成人慢性期看護学」「老年看護学」「精神看護学」「在宅看護学」「公衆衛生看護学」の看護系分野を設置するほかに、基礎教養系および専門支持系の専門性を活かして多様な看護学の研究課題に対応できるように「人文社会看護学」「自然科学看護学」を設置する。
2. 各専門分野の知識と研究能力を修得する修士論文コース、看護の現場での教育指導能力を修得する臨地教育者コース、看護学の特定分野における実践能力を獲得する専門看護師コースを設置する。専門看護師コースについては「母性看護学」「老年看護学」「精神看護学」に設置する。
3. 教育課程は、共通科目Ⅰと共通科目Ⅱ、専門科目で構成し、共通科目Ⅰには、看護における教育者あるいは実践者としての基礎的な能力を修得するための「看護研究概論」「看護教育論」「コンサルテーション論」、豊かな人間性や高い倫理観を育むための「看護倫理」、リーダーシップやマネジメント力を修得するための「看護管理論」、英語論文を読む能力を修得するための「英書講読」を設置する。また、修士論文や課題論文の作成に必要な研究方法が学修できるように「看護研究方法論Ⅰ（量的研究）」と「看護研究方法論Ⅱ（質的研究）」を選択科目として設置する。さらに、母性看護、老年看護および精神看護の専門看護師の養成に対応できるように「フィジカルアセスメント」「病態生理学」「臨床薬理学」も設置し、コース特性に応じて必修科目あるいは選択科目とする。
4. 共通科目Ⅱは、各専門分野の特論を設置し、専攻分野の特論を必修科目とするほか、幅広く知識を修得できるように専攻分野以外の特論を選択できるようにする。特に臨地教育者コースについては、看護教育学特論を必修科目とする。
5. 修士論文コースの専門科目においては、各教育研究分野における看護の現状と課題を明確にするため理論・研究・実践の諸概念を学ぶ科目として、分野ごとに「演習」と「特別研究」を設置する。
6. 臨地教育者コースの専門科目においては、看護系教育研究分野における現状と課題を明確にするための「演習」のほかに、看護の現場での教育指導能力が修得できるよう臨地教育実習を設置する。また、臨地における研究能力の育成のために「課題研究」を設置する。
7. 専門看護師コースの専門科目においては、特定分野における現状と課題を明確にするための「援助論」「演習」のほかに、専門看護師として臨床現場でのスペシャリストとしての能力が修得できるよう実習を設置する。また、専門看護師に必要な特定分野における研究能力の修得のために「課題研究」を設置する。

## 5 ディプロマ・ポリシー

本研究科では、以下のような姿勢・能力を身につけ、所定の単位を修得し、修士論文審査及び最終試験を合格した者に修士（看護学）の学位を授与する。

1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉えるための看護学の高度な専門的知識を修得している。
2. 豊かな人間性と高い倫理観を基盤としたリーダーシップやマネジメント力を修得している。
3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、現場のさまざまな課題について探究する能力を修得している。
4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。

修士論文コース修了者は、1から4に加えて、次の能力を身につけている。

5. 看護学の発展に寄与するための研究能力を修得している。

臨地教育者コース修了者は、1から4に加えて、次の能力を身につけている。

6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。

専門看護師コース修了者は、1から4に加えて、次の能力を身につけている。

7. 看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。

## 6 教育研究分野及び問い合わせ先

教育研究分野
人文社会看護学、自然科学看護学、実践基盤看護学、看護教育学、看護管理学、母性看護学、小児看護学、成人急性期看護学、成人慢性期看護学、老年看護学、精神看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学

出願を希望する者は、必ず事前に教育研究分野の中から志望する分野の担当教員と直接面談し、研究・教育について相談してください。

問い合わせ先の担当教員は本学ホームページに掲載していますので、以下のURLまたはQRコードより確認してください。また、各教育研究分野の内容についても、ホームページ掲載のシラバスを参考にしてください。

〈本学ホームページ〉

分野別問い合わせ先 <https://www.mcn.ac.jp/examination/point-2>

教育研究分野・シラバス※ <https://www.mcn.ac.jp/graduate/field>



〈問い合わせ〉



〈シラバス掲載〉

※ホームページ上のシラバスは毎年5月末に更新予定です。

## 7 履修方法

教育研究分野（7ページ）から1専攻分野を選択し、以下のように履修します。

なお、オンライン授業が可能な科目については、Microsoft Teams等を利用した遠隔授業を実施しています。

区分	修士論文コース	臨地教育者コース	専門看護師 (CNS) コース	必修 選択
共通科目 I	6 単位 2 単位以上	6 単位 2 単位以上	10 単位 (* )6 単位以上	必 修 選 択
共通科目 II (特 論)	専攻分野 2 単位 そ の 他 2 単位以上	専 攻 分 野 2 単位  看護教育学特論 2 単位	専攻分野 2 単位	必 修 選 択 必 修
専門科目	演 習 6 単位 特別研究 12 単位	演 習 6 単位 臨地教育実習 6 単位 課 題 研 究 6 単位	演 習 12 単位 実 習 10 単位 課題研究 6 単位	必 修 必 修 必 修
合 計	30単位以上	30単位以上	46単位以上	

(注1) 母性看護学分野、老年看護学分野、精神看護学分野に専門看護師（CNS）コースがあります。

\*・・・専門看護師（CNS）認定基準に基づき指定する授業科目から選択します。

(注2) 授業科目、授業内容等については巻末参考の教育課程（37～40ページ）を参照してください。

## 8 修了要件

修士課程の修了要件は次のとおりです。

本大学院に2年以上在学し、修士論文コース及び臨地教育者コースにあつては30単位以上を、専門看護師（CNS）コースにあつては46単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、優れた業績を挙げた者については、本大学院に1年以上在学すれば足りるものとします。

## 9 一般入試

### 1 募集人員

研究科名	課程名	専攻名	募集人員
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	15名（機関長推薦入試及び学内推薦入試の若干名を含む。）

#### ◆教育研究分野

教育研究分野	修士論文コース	臨地教育者コース	専門看護師（CNS）コース
人文社会看護学	○		
自然科学看護学	○		
実践基盤看護学	○	○	
看護教育学	○		
看護管理学	○		
母性看護学	○	○	○
小児看護学	○	○	
成人急性期看護学	○	○	
成人慢性期看護学	○	○	
老年看護学	○	○	○
精神看護学	○	○	○
在宅看護学	○	○	
公衆衛生看護学	○	○	

（注）各教育研究分野については、7ページをご確認ください。

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大

臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和9年3月31日までに授与される見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 専修学校の専攻科(専門課程における教育との連続性に配慮した教育課程を編成していることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学省が定める日以降に修了した者
- (9) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (10) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本大学院において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者(※)
- (11) 本大学院が行う個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに22歳に達する者(※)
- (12) 本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

**(※) 出願資格(10)又は(11)により出願をしようとする者は、出願前に個別の出願資格審査が必要で、(12~14ページを参照してください。)**

◎修士論文コースの出願にあたって、看護師・保健師・助産師資格の有無は問いません(ただし、出願資格(11)により出願する場合を除く)。

### 3 出願期間

夏期募集	令和8年7月13日(月)~令和8年7月31日(金)【17時必着】
冬期募集	令和8年10月5日(月)~令和8年10月23日(金)【17時必着】

(注) 直接持参による場合の受付時間は、土曜日、日曜日、祝日を除く9時から17時までです。

### 4-1 出願方法

- (1) 出願を希望する者は、事前に必ず教育研究分野の中から志望する分野の担当教員(7ページ記載)と直接面談し、研究・教育について相談してください。
- (2) 出願の際は、「出願書類」を全て所定の封筒に入れ、出願期間内に提出してください。郵送による場合には「書留速達郵便」で郵送してください。
- (3) 出願書類  
A~D票は27~29ページの出願書類の記入例及び記入上の注意を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。

出願に必要な書類		作成方法
A票	入学志願票	裏面にも記入欄がありますので、注意してください。 面談時に担当教員の署名をもらってください。
B票	写真票	縦4cm×横3cmの写真（上半身正面、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの。白黒、カラーどちらでも可）の裏面に氏名、生年月日を記入し、写真貼付欄に剥がれないように全面をのりづけしてください。
C票	受験票兼領収書	B票の写真票と同一の写真を貼ってください。
D票	原符	
E票	志願理由書	本学所定の様式に、志願者本人が記述してください。 (本研究科への志望動機、志望分野において希望する研究テーマについて)
H票	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記して、定形速達料金相当額の切手を貼付してください。
I票	連絡用宛名票シール	入学手続資料等の送付に使用しますので、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
J票	出願用封筒	「出願者」欄に必要事項を記入し、直接持参又は書留速達郵便で送付してください。
成績証明書(※)		出願資格に該当する大学等の学長又は学部長が証明したものを、厳封の上、提出してください。大学等に編入している者は、編入前の学校の成績証明書もあわせて提出してください。 ※記録保存期間の経過、廃校・被災その他の理由により成績証明書が発行されない場合は、「発行できない旨の文書」を提出してください。
卒業・修了(見込み)証明書(※)		出願資格に該当する大学等の卒業又は修了(見込み)証明書を提出してください。 なお、学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書を、学士の学位を授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書を提出してください。(学位授与申請受理証明書を提出した者は、学位授与後、学位授与証明書を提出していただきます。)
入学検定料		<b>30,000円(郵便普通為替とする)</b> 郵送による場合も、 <b>普通為替証書</b> を出願書類に同封して提出してください。「指定受取人」欄及び「おところ・おなまえ」欄には一切記入しないでください。
免許証の写し		自身が保有している国家資格(看護師等)があれば、免許証の写し(A4判に縮小したもの)を提出してください。

※出願資格（10）又は（11）により出願する者は、個別の出願資格審査申請時に、下記の書類を提出いただきますので、出願時に提出する必要はありません。

出願資格（10）：成績証明書、推薦書

出願資格（11）：成績証明書、卒業・修了（見込み）証明書、免許証の写し

(4) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類が全てそろっていない場合には、書類の受付はできません。提出の際は十分確認してください。
- ② 出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、出願先まで連絡してください。
- ③ 出願受付後には、志望する教育研究分野の変更は認められません。
- ④ 外国語で書かれた書類については、日本語訳を作成し、公的機関で証明を受けたものを添付してください。
- ⑤ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 一度受付をした出願書類及び入学検定料は、返還しません。

## 4-2 個別の出願資格審査

(1) 出願資格（10）又は（11）により出願を希望する者については、**出願前に個別の資格審査を行います**ので、下記の書類を取りそろえ、**以下の期間に提出してください**。なお、書類の提出前に、必ず教育研究分野の中から志望する分野の担当教員（7ページ記載）と直接面談し、研究・教育について相談してください。

※出願資格が認定された場合の有効期間は、当該年度のみです。

夏期募集	令和8年6月15日（月）～令和8年6月26日（金）【17時必着】
冬期募集	令和8年7月31日（金）～令和8年9月9日（水）【17時必着】

- (注) 1 郵送による場合は、期間内に届くよう「書留速達郵便」で郵送してください。  
 2 直接持参による場合の受付時間は、土曜日、日曜日、祝日を除く9時から17時までです。

資格審査に必要な書類		作成方法	出願資格	
			(9)	(10)
<b>K票</b>	出願資格審査申請書	本学所定の様式に、必要事項を記入してください。	○	○
<b>L票</b>	課題論文	本学所定の様式に、志願者本人が記述してください。（関心を持っている研究テーマについて）	○	○

資格審査に必要な書類	作成方法	出願資格	
		(9)	(10)
成績証明書	出願資格(10)にあつては、在学中最終のもの、出願資格(11)にあつては、13ページ(2)の表中「卒業又は修了した学校」の該当する学校の長が証明したものを、厳封の上、提出してください。 なお、看護系短期大学、専修学校等で看護師、保健師、助産師の教育を受けた者は、当該学校の成績証明書もあわせて提出してください。	○	○
卒業・修了(見込み)証明書	13ページ(2)の表中「卒業又は修了した学校」の該当する学校の卒業又は修了(見込み)証明書を提出してください。		○
免許証の写し	看護師、保健師、助産師の免許証の写し(A4判に縮小したもの)を提出してください。		○
その他の証明書(該当者のみ)	13ページ(2)の表中「卒業又は修了した学校」のウに該当する者は、当該学校の入学資格、卒業又は修了に必要な修業年数・単位(時間)数を記載した書類を提出してください。		○
学部学科の履修要覧	卒業に必要な授業科目・単位数のわかるものを提出してください。	○	
推薦書	学科主任、指導教員等が記載したものを提出してください。	○	
返信用封筒	長形3号の封筒に、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記の上、定形速達料金相当額の切手を貼付したものを提出してください。	○	○
在職証明書	13ページ(2)の表中「卒業又は修了した学校」の区分毎に実務研究経験の期間を満たすものを提出してください。全ての実務研究経験に対する在職証明は必要ありません。		○

(2) 出願資格(11)による資格審査申請条件については、看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有し、かつ卒業又は修了した学校種別で以下の実務研究経験を有する必要があります。

卒業又は修了した学校	実務研究経験の期間(※)
ア 修業年限が2年の短期大学、専修学校専門課程及び高等学校専攻科(5年一貫制の課程を含む)	2年以上
イ 修業年限が3年の短期大学及び専修学校専門課程	1年以上
ウ その他の教育施設	大学卒業までの最短修業年数(16年)から、最終学校卒業又は修了までの最短修業年数を控除した期間以上

(※) 実務研究経験の期間とは、看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を取得した後、令和9年3月31日時点での以下の期間（①又は②の期間については正規職員として従事した期間）を合算したものとします。なお、出願資格審査の申請時点で実務研究経験が上記の期間に満たない場合は、後日、期間を満たしたことを証明する書類（在籍期間証明書等）の提出が必要となります（令和9年3月31日時点で期間を満たしたことが確認できない場合は、資格を取り消します。）。

- ① 病院等における臨床実務に従事した期間
- ② 大学・短期大学、官公庁、研究所、会社等の教育又は研究開発部門に教育職又は研究職として従事した期間
- ③ 大学・短期大学等に置かれた専攻科等に在学した期間
- ④ 大学又は短期大学において、研究生として在学した期間

### (3) 審査

提出された書類により審査します。

審査の結果は、以下の期日以降に本人に書面で通知します。一週間を経過しても届かないときは出願先まで問い合わせてください。

夏期募集	令和8年7月3日（金）
冬期募集	令和8年10月2日（金）

## 5 出願先

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
三重県立看護大学 教務学生課  
電話 059-233-5602

## 6 受験票について

出願後、後日大学から送付します。試験期日の6日前までに受験票が届かない場合には、出願先までお問い合わせください。

## 7 就学に関する特別措置

### (1) 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、教育方法の特例により夜間その他特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことができることとされています。

本学では、社会人の方に就学しやすい環境を提供するため、この教育方法の特例を適用しています。

### (2) 長期履修制度

本学では職業を有している等の事情により、2年間での教育課程の履修が困難な学生に対して、3年間で計画的に履修し、教育課程を修了することにより学位を取得することができる、長期履修制度を導入しています。

これらの特例による就学を希望する者は、出願前に志望する教育研究分野の担当教員に相談をしてください。出願前に相談がなかった場合には、これらの制度を利用することはできません。

## 8 選抜方法等

### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、小論文、面接及び出願書類により行います。

### (2) 試験日

夏期募集	令和8年8月26日(水)
冬期募集	令和8年11月28日(土)

### (3) 時間割

時間	試験内容
9時00分～10時00分	専門科目(共通)
10時20分～11時20分	専門科目(分野別)
12時00分～	面接

### (4) 試験内容

- ① 専門科目(共通)：看護学一般
- ② 専門科目(分野別)：入学志願票A票に記載した志望する教育研究分野の科目
- ③ 面接

### (5) 試験場 (31ページ参照)

三重県立看護大学  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1

### (6) 受験上の注意事項

- ① 試験に関する諸注意を行いますので、8時45分までに試験室に入室してください。
- ② 専門科目(共通)試験開始後、20分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、試験時間の延長はしません。
- ③ 面接試験開始時刻に不在であった者は、欠席したものとし、入学者選抜の対象から除外します。
- ④ 1教科でも受験しない者は、入学者選抜の対象から除外します。
- ⑤ 試験日当日は「受験票」「黒鉛筆又はシャープペンシル」「プラスチック製消しゴム」を必ず持参してください。
- ⑥ 試験の際は、机の上に「受験票」「HBの黒鉛筆又はシャープペンシル」「プラスチック製消しゴム」「鉛筆削り」「時計」「眼鏡」以外の物は置かないでください。
- ⑦ 携帯電話や音の出る機器は、アラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑧ 試験日当日、受験票を忘れた者は、速やかに受験票の再発行手続を行ってください。また、**受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。**

- ⑨ 試験場では、監督者等の指示に従ってください。
- ⑩ 入室後は試験終了まで学外に出ることができませんので、昼食等は必要に応じて各自持参してください。
- ⑪ 災害その他の事情により、所定の試験日程による試験実施が困難になった場合等は本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) でお知らせしますので必ず確認してください。

## 9 合格発表

### (1) 発表日時

夏期募集	令和8年9月4日(金) 14時
冬期募集	令和8年12月4日(金) 14時

### (2) 発表方法

合格者には合格通知書及び入学手続関係書類等を郵送するとともに、本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) 上に合格者の受験番号を掲載します。この合格通知書をもって正式な通知といたします。

なお、ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。

電話等による問い合わせには応じません。

## 10 機関長推薦入試

### 1 募集人員

研究科名	課程名	専攻名	募集人員
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	若干名

#### ◆教育研究分野

教育研究分野	修士論文コース	臨地教育者コース	専門看護師（CNS） コース
人文社会看護学	○		
自然科学看護学	○		
実践基盤看護学	○	○	
看護教育学	○		
看護管理学	○		
母性看護学	○	○	○
小児看護学	○	○	
成人急性期看護学	○	○	
成人慢性期看護学	○	○	
老年看護学	○	○	○
精神看護学	○	○	○
在宅看護学	○	○	
公衆衛生看護学	○	○	

(注) 各教育研究分野については、7ページをご確認ください。

### 2 推薦要件・出願資格

#### (1) 推薦要件

次のいずれにも該当し、所属している機関の長から推薦が得られる者とする。

- ①「連携協力に関する協定」を締結した医療機関に医療職として勤務する者又は、同協定を締結した行政機関で保健行政に携わる者
- ②本学大学院修了後、修得した教育、研究又は高度な看護実践の能力をもって当該機関に貢献する強い意志を有する者
- ③看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有する者

#### (2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- ① 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和9年3月までに授与される見込みの者

### 3 出願期間

夏期募集	令和8年7月13日(月)～令和8年7月31日(金)【17時必着】
冬期募集	令和8年10月5日(月)～令和8年10月23日(金)【17時必着】

(注) 直接持参による場合の受付時間は、土曜日、日曜日、祝日を除く9時から17時までです。

### 4 出願方法

- (1) 出願を希望する者は、事前に必ず教育研究分野の中から志望する分野の担当教員(7ページ記載)と直接面談し、研究・教育について相談してください。
- (2) 出願の際は、「出願書類」を全て所定の封筒に入れ、出願期間内に提出してください。郵送による場合には「書留速達郵便」で郵送してください。
- (3) 出願書類  
 A～D票は27～29ページの出願書類の記入例及び記入上の注意を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。

出願に必要な書類		作成方法
A票	入学志願票	裏面にも記入欄がありますので、注意してください。 面談時に担当教員の署名をもらってください。
B票	写真票	縦4cm×横3cmの写真(上半身正面、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの。白黒、カラーどちらでも可)の裏面に氏名、生年月日を記入し、写真貼付欄に剥がれないように全面をのりづけしてください。
C票	受験票兼領収書	B票の写真票と同一の写真を貼ってください。
D票	原符	
E票	志願理由書	本学所定の様式に、志願者本人が記述してください。 (本研究科への志望動機、志望分野において希望する研究テーマについて)
F票	推薦書 (機関長推薦)	本学所定の様式に、推薦者が記入の上、厳封してください。
H票	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記して、定形速達料金相当額の切手を貼付してください。
I票	連絡用宛名票 シール	入学手続資料等の送付に使用しますので、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。

出願に必要な書類		作成方法
J票	出願用封筒	「出願者」欄に必要事項を記入し、直接持参又は書留速達郵便で送付してください。
成績証明書		出願資格に該当する大学等の学長又は学部長が証明したものを、厳封の上、提出してください。大学等に編入している者は、編入前の学校の成績証明書もあわせて提出してください。 なお、なお看護系短期大学、専修学校等で看護師、保健師、助産師の教育を受けた者は、当該学校の成績証明書もあわせて提出してください。 ※記録保存期間の経過、廃校・被災その他の理由により成績証明書が発行されない場合は、「発行できない旨の文書」を提出してください。
卒業・修了(見込み)証明書		出願資格に該当する大学等の卒業又は修了(見込み)証明書を提出してください。 なお、学位授与機構から学士の学位を授与された者は学位授与証明書を、学士の学位を授与される見込みの者は学位授与申請受理証明書を提出してください。(学位授与申請受理証明書を提出した者は、学位授与後、学位授与証明書を提出してください。)
入学検定料		30,000円(郵便普通為替とする) 郵送による場合も、普通為替証書を出願書類と同封して提出してください。「指定受取人」欄及び「おところ・おなまえ」欄には一切記入しないでください。

#### (4) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類が全てそろっていない場合には、書類の受付はできません。提出の際は十分確認してください。
- ② 出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、出願先まで連絡してください。
- ③ 出願受付後には、志望する教育研究分野の変更は認められません。
- ④ 外国語で書かれた書類については、日本語訳を作成し、公的機関で証明を受けたものを添付してください。
- ⑤ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 一度受付をした出願書類及び入学検定料は、返還しません。

## 5 出願先

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
 三重県立看護大学 教務学生課  
 電話 059-233-5602

## 6 受験票について

出願後、後日大学から送付します。試験期日の6日前までに受験票が届かない場合には、出願先までお問い合わせください。

## 7 就学に関する特別措置

### (1) 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、教育方法の特例により夜間その他特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことが出来ることとされています。

本学では、社会人の方に就学しやすい環境を提供するため、この教育方法の特例を適用しています。

### (2) 長期履修制度

本学では職業を有している等の事情により、2年間での教育課程の履修が困難な学生に対して、3年間で計画的に履修し、教育課程を修了することにより学位を取得することができる、長期履修制度を導入しています。

**これらの特例による就学を希望する者は、出願前に志望する教育研究分野の担当教員に相談をしてください。出願前に相談がなかった場合には、これらの制度を利用することはできません。**

## 8 選抜方法等

### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類により行います。

### (2) 試験日

夏期募集	令和8年8月26日(水)
冬期募集	令和8年11月28日(土)

### (3) 時間割

時間	試験内容
12時00分～	面接

### (4) 試験内容

#### ① 面接

### (5) 試験場 (31ページ参照)

三重県立看護大学  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1

## (6) 受験上の注意事項

- ① 試験に関する諸注意を行いますので、11時50分までに面接控室に入室してください。
- ② 面接試験開始時刻に不在であった者は、欠席したものとし、入学者選抜の対象から除外します。
- ③ 面接試験を受験しない者は、入学者選抜の対象から除外します。
- ④ 携帯電話や音の出る機器は、アラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑤ 試験日当日、受験票を忘れた者は、速やかに受験票の再発行手続を行ってください。また、**受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。**
- ⑥ 試験場では、監督者等の指示に従ってください。
- ⑦ 入室後は試験終了まで学外に出ることができませんので、食事等は必要に応じて各自持参してください。
- ⑧ 災害その他の事情により、所定の試験日程による試験実施が困難になった場合等は本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) でお知らせしますので必ず確認してください。

## 9 合格発表

### (1) 発表日時

夏期募集	令和8年9月4日(金) 14時
冬期募集	令和8年12月4日(金) 14時

### (2) 発表方法

合格者には合格通知書及び入学手続関係書類等を郵送するとともに、本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) 上に合格者の受験番号を掲載します。この合格通知書をもって正式な通知といたします。

なお、ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。

**電話等による問い合わせには応じません。**

## 10 連携協力協定締結機関

### (1) 連携協力に関する協定を締結した医療機関（令和8年1月時点）（締結順）

三重県立こころの医療センター / 松阪市民病院 / 社会福祉法人恩賜財団済生会松阪総合病院  
三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院 / 地方独立行政法人三重県立総合医療センター  
日本赤十字社伊勢赤十字病院 / 独立行政法人国立病院機構三重病院 / 三重県立一志病院  
三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院 / 市立伊勢総合病院  
社会医療法人畿内会岡波総合病院 / 伊賀市立上野総合市民病院 / 藤田医科大学七栗記念病院  
独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター

### (2) 連携協力に関する協定を締結した保健行政に携わる機関（令和8年1月時点）（締結順）

名張市 / 津市

# 11 学内推薦入試

## 1 募集人員

研究科名	課程名	専攻名	募集人員
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	若干名

### ◆教育研究分野

教育研究分野	修士論文コース
人文社会看護学	○
自然科学看護学	○
実践基盤看護学	○
看護教育学	○
看護管理学	○
母性看護学	○
小児看護学	○
成人急性期看護学	○
成人慢性期看護学	○
老年看護学	○
精神看護学	○
在宅看護学	○
公衆衛生看護学	○

- (注) 1 各教育研究分野については、7ページをご確認ください。  
2 学内推薦入試では、修士論文コースのみの募集となります。

## 2 推薦要件

次の各号のいずれにも該当する者とする。

- (1) 本学看護学部4年次に在籍し、令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 本学大学院へ進学し研究を行うことについて、強い意欲と能力を有する者
- (3) 本学大学院の教育研究分野のうち、志望する分野の担当教員から受け入れについて承諾を得られる者
- (4) 合格した場合、本学大学院に必ず入学することを確約できる者

## 3 出願期間

夏期募集	令和8年7月13日(月)～令和8年7月31日(金)【17時必着】
冬期募集	令和8年10月5日(月)～令和8年10月23日(金)【17時必着】

(注) 直接持参による場合の受付時間は、土曜日、日曜日、祝日を除く9時から17時までです。

## 4 出願方法

- (1) 出願を希望する者は、事前に卒業研究の指導教員に相談の上、教育研究分野（7ページ記載）の中から志望する分野の担当教員と直接面談し、研究・教育について相談してください。
- (2) 出願の際は、「出願書類」を全て所定の封筒に入れ、出願期間内に提出してください。郵送による場合には「書留速達郵便」で郵送してください。
- (3) 出願書類  
A～D票は27～29ページの出願書類の記入例及び記入上の注意を参照の上、必要事項を漏れなく記入してください。

出願に必要な書類		作成方法
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A票</span>	入学志願票	裏面にも記入欄がありますので、注意してください。 面談時に担当教員の署名をもらってください。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B票</span>	写真票	縦4cm×横3cmの写真（上半身正面、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの。白黒、カラーどちらでも可）の裏面に氏名、生年月日を記入し、写真貼付欄に剥がれないように全面をのりづけしてください。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C票</span>	受験票兼領収書	B票の写真票と同一の写真を貼ってください。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">D票</span>	原符	
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">E票</span>	志願理由書	本学所定の様式に、志願者本人が記述してください。 (本研究科への志望動機、志望分野において希望する研究テーマについて)
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">G票</span>	推薦書 (学内推薦)	本学所定の様式に、推薦者（原則としてチューター担当教員）が記入の上、厳封してください。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">H票</span>	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記して、定形速達料金相当額の切手を貼付してください。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">I票</span>	連絡用宛名票 シール	入学手続資料等の送付に使用しますので、志願者の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">J票</span>	出願用封筒	「出願者」欄に必要事項を記入し、直接持参又は書留速達郵便で送付してください。
成績証明書		3年次後期終了時点までの成績が記載された成績証明書を提出してください。

出願に必要な書類	作成方法
卒業見込証明書	卒業見込証明書を提出してください。
入学検定料	30,000円（郵便普通為替とする。） 郵送による場合も、普通為替証書を出願書類に同封して提出してください。「指定受取人」欄及び「おところ・おなまえ」欄には一切記入しないでください。

#### (4) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類が全てそろっていない場合には、書類の受付はできません。提出の際は十分確認してください。
- ② 出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、出願先まで連絡してください。
- ③ 出願受付後には、志望する教育研究分野の変更は認められません。（教育研究分野の概要については7ページをご確認ください。）
- ④ 入学を許可した後であっても、出願書類の記載内容と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 一度受付をした出願書類及び入学検定料は、返還しません。

## 5 出願先

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
 三重県立看護大学 教務学生課  
 電話 059-233-5602

## 6 受験票について

出願後、後日大学から送付します。試験期日の6日前までに受験票が届かない場合には、出願先までお問い合わせください。

## 7 就学に関する特別措置

### (1) 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、教育方法の特例により夜間その他特定の時間又は時期において授業や研究指導を行うことが出来ることとされています。

本学では、社会人の方に就学しやすい環境を提供するため、この教育方法の特例を適用しています。

### (2) 長期履修制度

本学では職業を有している等の事情により、2年間での教育課程の履修が困難な学生に対して、3年間で計画的に履修し、教育課程を修了することにより学位を取得することができる、長期履修制度を導入しています。

### (3) その他

主任指導教員の指示により、必要に応じ、本学の連携協定病院等での臨床経験（非常勤での勤務を含む。）を入学後に課す場合があります。

**(1)及び(2)の特例による就学を希望する者は、出願前に志望する教育研究分野の担当教員に相談をしてください。出願前に相談がなかった場合には、これらの制度を利用することはできません。**

## 8 選抜方法等

### (1) 選抜方法

入学者の選抜は、面接及び出願書類により行います。

### (2) 試験日

夏期募集	令和8年8月26日（水）
冬期募集	令和8年11月28日（土）

### (3) 時間割

時 間	試験内容
12時00分～	面 接

### (4) 試験内容

#### ① 面 接

### (5) 試験場

三重県立看護大学  
三重県津市夢が丘1丁目1番地1

(6) 受験上の注意事項

- ① 試験に関する諸注意を行いますので、11時50分までに面接控室に入室してください。
- ② 面接試験開始時刻に不在であった者は、欠席したものとし、入学者選抜の対象から除外します。
- ③ 面接試験を受験しない者は、入学者選抜の対象から除外します。
- ④ 携帯電話や音の出る機器は、アラームの設定を解除し電源を切り、かばん等に入れてください。
- ⑤ 試験日当日、受験票を忘れた者は、速やかに受験票の再発行手続を行ってください。また、**受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。**
- ⑥ 試験場では、監督者等の指示に従ってください。
- ⑦ 入室後は試験終了まで学外に出ることができませんので、食事等は必要に応じて各自持参してください。
- ⑧ 災害その他の事情により、所定の試験日程による試験実施が困難になった場合等は本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) でお知らせしますので必ず確認してください。

## 9 合格発表

(1) 発表日時

夏期募集	令和8年9月4日(金) 14時
冬期募集	令和8年12月4日(金) 14時

(2) 発表方法

合格者には合格通知書及び入学手続関係書類等を郵送するとともに、本学ホームページ (<https://www.mcn.ac.jp>) 上に合格者の受験番号を掲載します。この合格通知書をもって正式な通知といたします。

なお、ホームページ上に掲載する合格者受験番号は、あくまでも情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。

電話等による問い合わせには応じません。

# 12 共通事項

## 1 出願書類の記入例及び記入上の注意

A票

令和9年度 三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験

出願区分を記入してください。

### 入学志願票

区分	一般入試 (夏期) (冬期)
受験番号	※ 何も記入しないでください。

改姓等により、出願書類と証明書類等の姓が異なっている場合は記入してください。

(フリガナ) 氏名	姓	名	旧姓	三看	
	ミエ	ハナコ	性別	生年月日	
	三重	花子	男 (女)	昭和 平成	63年5月8日
志望分野	該当するものに○を付けてください。 ●人文社会看護学 ●自然科学看護学 ●実践基盤看護学 ●看護教育学 ●看護管理学 ●母性看護学 ●小児看護学 ●成人急性期看護学 ●成人慢性期看護学 ●老年看護学 ●精神看護学 ●在宅看護学 ●公衆衛生看護学				大学院設置 基準第14条 特例の希望
	該当するものに○をつけてください。 ●修士論文コース ●臨地教育者コース ●専門看護師 (CNS) コース				担当教員署名
				*面談時に担当教員の署名をもらってください。 署名がない場合は受理できません。	
住所	〒 514 - 0116				
	三重県津市広明町13番地 ○×アパート202				
	*○○方、△△アパート△号室など正確に記入してください。				
	電話番号	059-233-5602	携帯電話番号等	090-××××-××××	
緊急連絡先	〒 514 - 0116			電話番号	059-233-5603
	三重県津市夢が丘1-1-1 ○○病院 看護学部				
					*緊急時に連絡がつくところ(勤務先等)を記入してください。
出願資格	昭和・平成・令和 23年3月 卒業見込				
	夢が丘 大学 看護 学部 看護 学科				
	平成・令和 年 月 認定修了・認定修了見込				
					卒業(見込)年月及び各項目を記入のうえ、該当する項目に○を付けてください。
					学位授与機構 学士
					外国の学校教育修了者 文部科学大臣の指定した者 その他

出願資格(10)又は(11)による場合には、その他に○を付けてください。

B票

令和9年度

三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験  
写真票

写 真  
出願前3か月以内に撮影した上半身  
正面、無帽、無背景のもの  
縦4cm×横3cm

出願区分を記入してください。

区 分	一般入試 (夏期) 冬期)
志望分野	成人急性期看護学
受験番号	※ 何も記入しないでください。
(フリガナ) 氏 名	ミエ ハナコ 男 三重 花子 (女)

(切り取らないでください)

C票

令和9年度

三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験  
受験票兼領収書

受験番号	※ 何も記入しないでください。	写 真 出願前3か月以内に撮影した上半身 正面、無帽、無背景のもの 縦4cm×横3cm
(フリガナ) 氏 名	ミエ ハナコ 三重 花子	

写真票(B票)と同一の写真を貼付してください。

区 分	一般入試 (夏期) 冬期) 出願区分を記入してください。 (夏期・冬期)
試 験 日	令和 年 月 日 ( ) 試験日を記入してください。
志望分野	成人急性期看護学
試 験 場	三重県立看護大学

領 収 書	領 収 印
<p>¥30,000-</p> <p>ただし、令和9年度三重県立看護大学大学院看護学研究科入学検定料として上記の金額を領収しました</p> <p>三重県立看護大学 出納責任者</p>	

(切り取らないでください)

D票

令和9年度 三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験  
原 符

出願区分を記入してください。

区 分	一般入試 (夏期) 冬期)	
受験番号	※ 何も記入しないでください。	
納 入 者 (志願者)	住 所	三重県津市広明町13番地 〇×アパート202
	(フリガナ) 氏 名	ミエ ハナコ 三重 花子

¥30,000-

ただし、令和9年度三重県立看護大学大学院看護学研究科入学検定料として上記の金額を領収しました。

令和 年 月 日  
日付は記入しないでください。  
三重県立看護大学 出納責任者

## 履 歴 書

学 歴 (高等学校卒業から)	平成 19 年 3 月	三重県立夢が丘高等学校普通科 卒業
	平成 19 年 4 月	夢が丘大学看護学部看護学科 入学
	平成 23 年 3 月	夢が丘大学看護学部看護学科 卒業
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	平成 23 年 4 月	○×病院 入職
	年 月	現在に至る
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

※学歴・職歴欄が不足する場合は、任意の様式に記入してください。



A票

令和9年度 三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験

入学志願票

区分	(夏期・冬期)
受験番号	※

氏名 (フリガナ)	姓	名	旧姓	性別		生年月日	
				男	女	昭和 平成	年 月 日
志望分野	該当するものに○を付けてください。 ●人文社会看護学 ●自然科学看護学 ●実践基盤看護学 ●看護教育学 ●看護管理学 ●母性看護学 ●小児看護学 ●成人急性期看護学 ●成人慢性期看護学 ●老年看護学 ●精神看護学 ●在宅看護学 ●公衆衛生看護学						大学院設置 基準第14条 特例の希望
	該当するものに○をつけてください。 ●修士論文コース ●臨地教育者コース ●専門看護師(CNS)コース						担当教員署名
住所	〒 —						
	電話番号	—	—	携帯電話番号等	—	—	
緊急連絡先	〒 —			電話番号	—	—	
出願資格	昭和・平成・令和 年 月 卒業・卒業見込						
	大学 学部 学科						
	平成・令和 年 月 認定修了・認定修了見込						
学位授与機構 学士							
外国の学校教育修了者 文部科学大臣の指定した者 その他							

○ (ここから切り離して提出してください)

(切り取らないでください)

B票

令和9年度

三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験  
写真票

写真  
出願前3か月以内に撮影した上半身  
正面、無帽、無背景  
のもの  
縦4cm×横3cm

区分	(夏期・冬期)
志望分野	
受験番号	※
(フリガナ)氏名	男 女

(切り取らないでください)

C票

令和9年度

三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験  
受験票兼領収書

受験番号	※	写真 出願前3か月以内に撮影した上半身 正面、無帽、無背景 のもの 縦4cm×横3cm
(フリガナ)氏名		

区分	(夏期・冬期)
試験日	令和 年 月 日 ( )
志望分野	
試験場	三重県立看護大学

領収書	領収印
¥30,000- ただし、令和9年度三重県立看護大学大学院看護学研究科入学検定料として上記の金額を領収しました 三重県立看護大学 出納責任者	

(切り取らないでください)

D票

令和9年度 三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験

原符

区分	(夏期・冬期)
受験番号	※
納入者 (志願者)	住所
	(フリガナ)氏名

¥30,000-

ただし、令和9年度三重県立看護大学大学院看護学研究科入学検定料として上記の金額を領収しました。

令和 年 月 日

三重県立看護大学 出納責任者

(注) 1 黒又は青のボールペンを使用し、丁寧に記入してください。

2 ※印欄は記入しないでください。(B票～D票)についても同じ。)

履 歴 書		
学 歴 (高等学校卒業から)	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
職 歴	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

※学歴・職歴欄が不足する場合は、任意の様式に記入してください

E票

令和9年度  
三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験

志願理由書

区 分	(夏期・冬期)
氏 名	
受験番号	※

本研究科への志望動機、志望分野において希望する研究テーマについて記述してください。

Blank area for writing the statement of interest, with horizontal dashed lines for writing.

(ここから切り離して提出してください)

- (注) 1 パソコン、ボールペン又はペンで記入してください。ただし、パソコンの場合でも必ずこの用紙に印字してください。  
2 ※印欄は記入しないでください。



F票

令和9年度  
三重県立看護大学大学院  
看護学研究科入学試験（機関長推薦）

受験番号

※

## 推薦書

令和 年 月 日

三重県立看護大学長 様

所在地 \_\_\_\_\_

推薦機関名 \_\_\_\_\_

推薦機関長職・氏名 \_\_\_\_\_ ⑩

下記の者は、大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の機関長推薦への出願にふさわしい人物と認め、ここに推薦いたします。

## 記

(フリガナ) 志願者氏名		生年月日	昭和 平成	年 月 日
次の項目について、1,000字程度で記載してください。				
1 職務の遂行状況に関する所見 2 志望する分野に対する適性及び研究能力 3 その他参考となる事項				

(裏面の注意事項を参照してください。)

(ここから切り離して提出してください)



G票

令和9年度  
三重県立看護大学大学院  
看護学研究科入学試験（学内推薦）

受験番号

※

推薦書

令和 年 月 日

三重県立看護大学長 様

職 名 \_\_\_\_\_

推薦者名 \_\_\_\_\_ (印)

下記の者は、大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）の学内推薦への出願にふさわしい人物と認め、ここに推薦いたします。

記

学 籍 番 号		(フリガナ) 志願者氏名	
次の項目について、1,000字程度で記載してください。			
1 勉学及び学業成績に関する所見			
2 志望する分野に対する適性及び研究能力			
3 その他参考となる事項			

(ここから切り離して提出してください)

(裏面の注意事項を参照してください。)



K票

令和9年度 三重県立看護大学大学院看護学研究科入学試験  
出願資格審査申請書

(フリガナ) 氏 名	(男・女)	旧姓		整理 番号	※	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	区分	(夏期・冬期)	認定の 可否	※	
志望分野	<p>●人文社会 ●自然科学 ●実践基盤 ●看護教育 ●看護管理 ●母性 ●小児 ●成人急性 ●成人慢性 ●老年 ●精神 ●在宅 ●公衆衛生</p> <p>上記の志望分野に○をし、下記にチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/> 志望分野の担当教員と直接面談しました。</p>					
履歴事項 (高等学校以降)	学歴	年 月 ~ 年 月	高等学校			
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
	実務経験 (職歴)	期 間	勤務先・所属		具体的な職名と職務内容	
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
		年 月 ~ 年 月				
免許・資格等	年 月 日	(免許番号 )				
	年 月 日	(免許番号 )				
	年 月 日	(免許番号 )				
	年 月 日	(免許番号 )				
連絡先 住 所 電 話	〒 — 電話 ( ) —					

( )から切り離して提出してください

- (注) 1 性別・区分・志望分野は、該当する事項を○で囲むこと。  
2 ※欄は記入しないこと。  
3 履歴事項欄が不足する場合、別紙として添付すること。  
4 入学者選抜試験の結果、合格者となった場合は、本申請書の実務経験欄に記載した経歴について、所属長の証明書を求めることもあるので、記載にあたっては正確を期すること。記載の内容が証明書と相違する場合は、合格を取り消すことがあります。



L票

令和9年度  
三重県立看護大学大学院看護学研究科  
出願資格審査用

課題論文

区分	(夏期・冬期)
氏名	
受験番号	※

関心を持っている研究テーマについて記述してください。

(ここから切り離して提出してください)

- (注) 1 パソコン、ボールペン又はペンで記入してください。ただし、パソコンの場合でも必ずこの用紙に印字してください。  
2 ※印欄は記入しないでください。



## 2 試験場・入学手続場所案内図

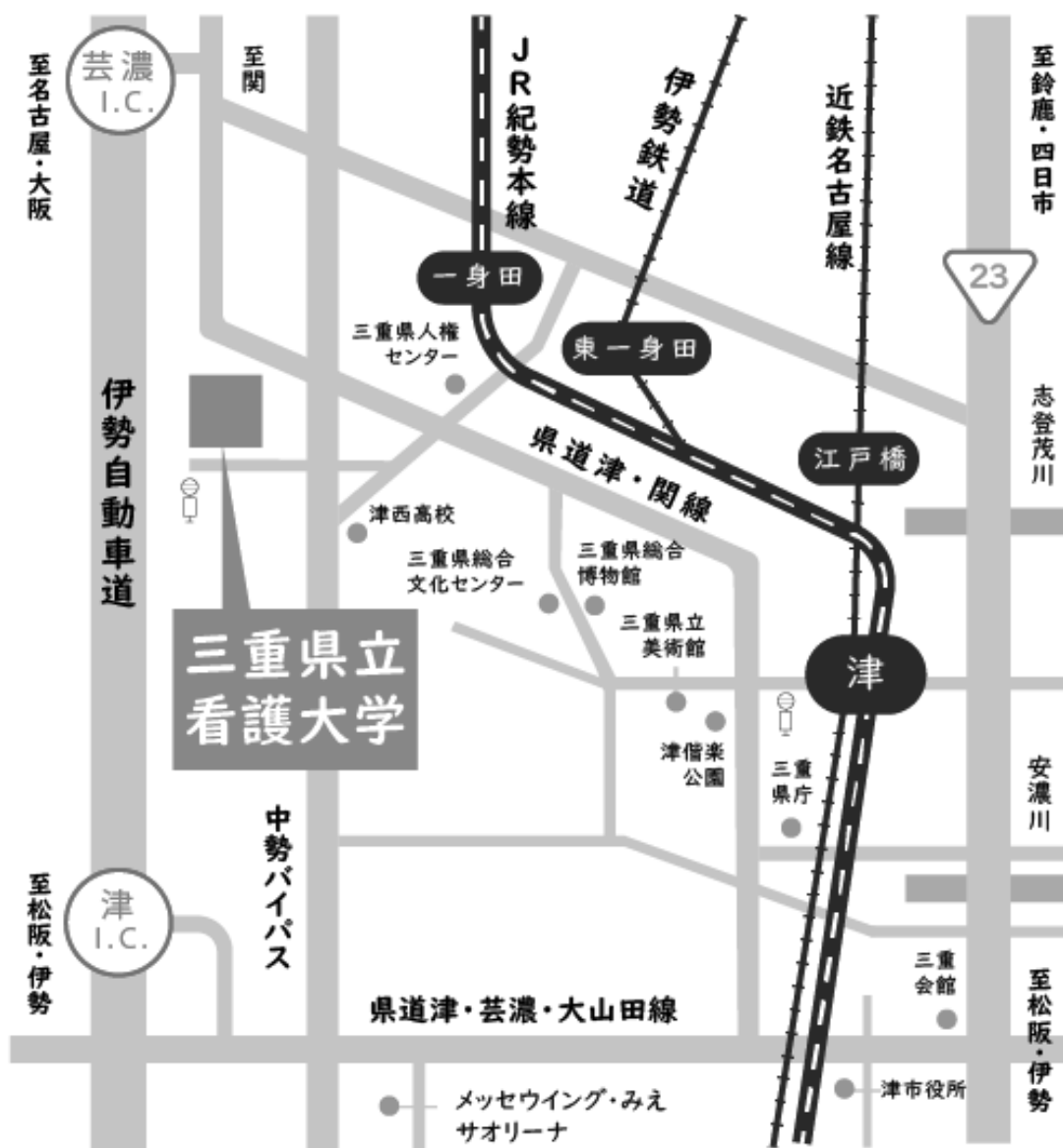
三重県立看護大学

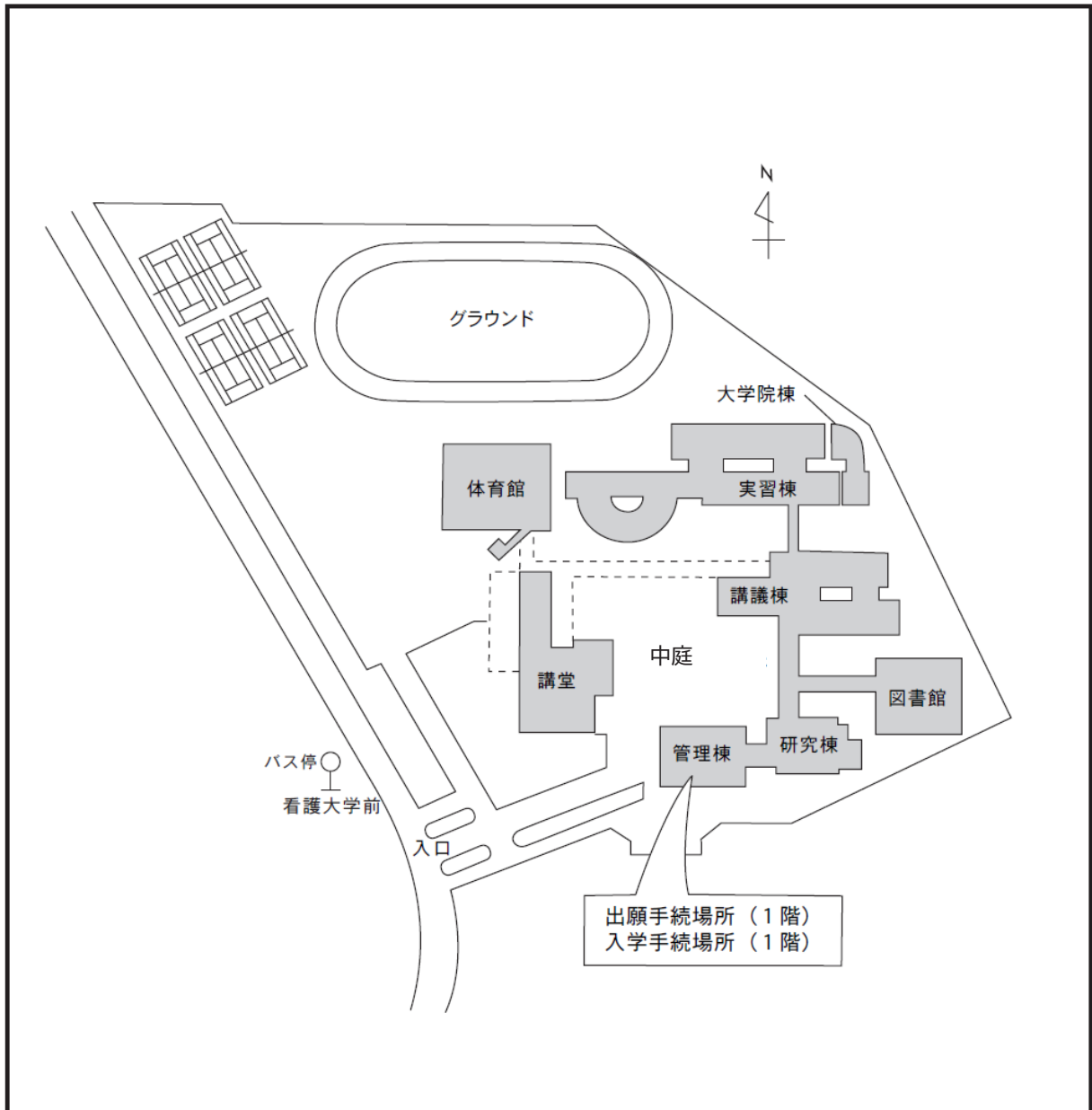
三重県津市夢が丘1丁目1番地1

[交通案内]

J R・近鉄 津駅西口（近鉄側）より三重交通バス

看護大学夢が丘線「看護大学前」バス停車





### 3 入学手続

#### (1) 入学手続期間

夏期募集	令和8年9月7日（月）～令和8年9月18日（金）【17時必着】
冬期募集	令和8年12月7日（月）～令和8年12月18日（金）【17時必着】

#### (2) 入学手続方法

合格者に送付する入学手続要項に基づき、手続書類を取りそろえて、「書留速達郵便」又は「直接持参」により行ってください。直接持参の受付時間は、土曜日、日曜日、祝日を除く9時から17時までとします。

入学手続を完了した者には、後日、入学許可書を送付します。

#### (3) 提出書類

- ① 誓約書・保証書（日本国内に在住する保証人1名が必要です。）
- ② 個人情報の取扱いに関する同意書
- ③ 卒業証明書（3月末日までに提出してください。）
- ④ 写真（縦4cm×横3cm）1枚
- ⑤ 受験票
- ⑥ 入学料振込証明書貼付台紙（金融機関から返却された振込証明書を貼付してください。）
- ⑦ 履修計画書（担当教員と相談の上、提出してください。）
- ⑧ 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例申請書【希望者のみ】（担当教員と相談の上、提出してください。）
- ⑨ 長期履修申請書【希望者のみ】（担当教員と相談の上、提出してください。）

※⑦～⑨の書類は、夏期募集は11月27日（金）までに、冬期募集は入学手続と同時に提出してください

#### (4) 入学手続場所

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
三重県立看護大学 教務学生課  
電話 059-233-5602

#### (5) 入学手続上の注意事項

- ① 入学手続期間内に入学手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類及び入学料が全てそろっていない場合には受付できませんので、書類提出の際には十分確認してください。また、入学手続期間を過ぎて到着したものは、受付できません。郵送の場合には所要日数を十分考慮して発送してください。
- ③ 一度受付をした入学手続書類及び入学料は、返還しません。

## 4 初年度納付金

入学手続の際には、下表の入学料を納付する必要があります。

区 分		金 額	備 考
入 学 料	本学卒業生	94,000 円	本学看護学部を卒業した者（注1）
	本学卒業生以外 三重 県 内 者 （注3）	188,000 円	次のいずれかに該当する者 ① 入学者本人が、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの1年間、継続して三重県内の市町に住民登録する見込の者（注2） ② 入学者の配偶者又は1親等の親族が、令和8年4月1日から令和9年3月31日までの1年間、継続して三重県内の市町に住民登録する見込の者（注2）
	その他 の 者	376,000 円	上記以外の者
授 業 料		535,800 円 （年額）（注4）	入学後、前期（6月）、後期（11月）の2回に分けて徴収します。
その他の経費			教科書及び保険等の費用が別途必要となります。

※入学料及び授業料は改定される場合があります。また、在学中に授業料が改定された場合には、改定時からの新授業料が適用されます。

- （注） 1 卒業の翌年度から進学する場合は、徴収しません。
- 2 「三重県内者」に該当する場合、確認書類として①の該当者は入学者本人、②の該当者は入学者の配偶者又は1親等の親族の「住民票抄本」等（発行日が合格通知を受け取った日以降のもの）を令和9年4月に提出していただきます。
- 3 上表の入学料の三重県内者で、入学手続の際に提出した申請書内容等に変更が生じ、三重県内者の要件を満たさなくなった場合は、188,000 円を追加徴収します。
- 4 長期履修学生として認められた場合の授業料は、修業年限の2年分を、長期履修を認められた年限で除した額となります。

## 5 個人情報の取扱いについて

本学では入学者選抜等を通して大学が保有することになる個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」、「三重県個人情報の保護に関する法律施行条例」並びに「公立大学法人三重県立看護大学が保有する個人情報の保護等に関する規程」等により適正な管理を行います。

なお、本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報については次の目的に利用します。

- ① 入学者選抜（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理、合格発表・通知等）にかかる業務、入学手続にかかる業務、入学者選抜方法の調査・研究等の入試事務及び付随する業務
- ② 教務事務（学籍、修学指導等）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請等）、授業料等の収納事務及び付随する業務

## 6 個人別評価の提供

受験者の請求により選抜試験の個人別評価を提供します。

### (1) 提供する個人別評価の内容

専門科目（共通、分野別）の得点（一般入試のみ）及び面接の評価

### (2) 提供期間

夏期募集	令和8年9月24日（木）～令和8年10月23日（金）
冬期募集	令和9年1月4日（月）～令和9年1月29日（金）

（注）土曜日、日曜日、祝日を除く9時から17時まで。

### (3) 申請に必要な書類

- ① 三重県立看護大学入学者選抜試験に係る個人別評価請求書
- ② 受験票
- ③ 返信用封筒（個人別評価結果送付用）

（郵送で請求の場合のみ。長形3号の封筒に請求者の郵便番号、住所、氏名を明記の上、郵便基本料金＋簡易書留料金相当額の切手を貼付してください。）

（注）1 請求書の様式は、本学ホームページに掲載しています。

2 直接来学して請求することも可能です。その場合、③は不要です。

### (4) 請求先

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1  
三重県立看護大学 教務学生課  
電話 059-233-5602

## 7 過去問題の公開

過去3年間に実施した試験のうち、直近2回分の試験問題を、本学ホームページにてPDF形式で公開しています（令和8年4月中旬以降に公開予定）。

なお、試験問題に関するお問い合わせには対応しかねますので、あらかじめご了承ください。



三重県立看護大学大学院  
看護学研究科看護学専攻（修士課程）の  
授業科目及び履修要件



## 授業科目及び履修要件

区分	科目 ★CNS共通A、☆CNS共通B ◎CNS特定分野科目	単位 (時間)	配当 (注)	必要単位数				
				修士論文コース	臨床教育者コース	母性CNSコース	老年CNSコース	精神CNSコース
共通科目Ⅰ	看護研究概論★	2 (30)	1前	必修	*	必修	必修	必修
	看護研究方法論Ⅰ (量的研究)	2 (30)	1後	*	*	*	*	*
	看護研究方法論Ⅱ (質的研究)	2 (30)	1後	*	*	*	*	*
	看護教育論★	2 (30)	1前	必修	必修	選択6	選択6	選択6
	看護管理論★	2 (30)	1前	*	必修			
	コンサルテーション論★	2 (30)	1後	*	*			
	看護倫理★	2 (30)	1後	*	*			
	英書講読	2 (30)	1前	必修	必修	必修	必修	必修
	フィジカルアセスメント☆	2 (30)	1後	*	*	必修	必修	必修
	病態生理学☆	2 (30)	1後	*	*	必修	必修	必修
	臨床薬理学☆	2 (30)	1後	*	*	必修	必修	必修
	小計				必6+選*2以上	必6+選*2以上	必10+選6以上 (CNS14)	必10+選6以上 (CNS14)
共通科目Ⅱ	人文社会看護学特論	2 (30)	1前	専攻分野の特論2 + その他から2以上 (注1: 人文社会看護学および自然科学看護学分野専攻の場合は、実践基盤看護学以下の特論を選択)	専攻分野の特論2 + 看護教育学特論2	専攻分野の特論2	専攻分野の特論2	専攻分野の特論2
	自然科学看護学特論	2 (30)	1前					
	実践基盤看護学特論	2 (30)	1前					
	看護教育学特論	2 (30)	1前					
	看護管理学特論	2 (30)	1前					
	母性看護学特論◎	2 (30)	1前					
	小児看護学特論	2 (30)	1前					
	成人急性期看護学特論	2 (30)	1前					
	成人慢性期看護学特論	2 (30)	1前					
	老年看護学特論◎	2 (30)	1前					
	精神看護学特論◎	2 (30)	1前					
	在宅看護学特論	2 (30)	1前					
公衆衛生看護学特論	2 (30)	1前						
小計				必2+選2以上	必4以上	必2以上 (CNS2)	必2以上 (CNS2)	必2以上 (CNS2)
人文社会看護学分野	人文社会看護学演習Ⅰ	2 (30)	1前	必修6				
	人文社会看護学演習Ⅱ	2 (30)	1後					
	人文社会看護学演習Ⅲ	2 (30)	1後					
	人文社会看護学特別研究Ⅰ	4 (60)	1後	必修12				
	人文社会看護学特別研究Ⅱ	4 (60)	2前					
	人文社会看護学特別研究Ⅲ	4 (60)	2後					
自然科学看護学分野	自然科学看護学演習Ⅰ	2 (30)	1前	必修6				
	自然科学看護学演習Ⅱ	2 (30)	1後					
	自然科学看護学演習Ⅲ	2 (30)	1後					
	自然科学看護学特別研究Ⅰ	4 (60)	1後	必修12				
	自然科学看護学特別研究Ⅱ	4 (60)	2前					
	自然科学看護学特別研究Ⅲ	4 (60)	2後					

区分	科目 ★CNS共通A、☆CNS共通B ◎CNS特定分野科目	単位(時間)	配当(注)	必要単位数					
				修士論文コース	臨地教育者コース	母性CNSコース	老年CNSコース	精神CNSコース	
実践基盤看護学分野	実践基盤看護学演習Ⅰ	2(30)	1前	必修6	必修6				
	実践基盤看護学演習Ⅱ	2(30)	1後						
	実践基盤看護学演習Ⅲ	2(30)	1後						
	実践基盤看護学特別研究Ⅰ	4(60)	1後	必修12					
	実践基盤看護学特別研究Ⅱ	4(60)	2前						
	実践基盤看護学特別研究Ⅲ	4(60)	2後						
	実践基盤看護学臨地教育実習Ⅰ	3(90)	1後		必修6				
	実践基盤看護学臨地教育実習Ⅱ	3(90)	2前		必修6				
	実践基盤看護学課題研究Ⅰ	2(30)	1後						
	実践基盤看護学課題研究Ⅱ	2(30)	2前						
	実践基盤看護学課題研究Ⅲ	2(30)	2後						
看護教育学分野	看護教育学演習Ⅰ	2(30)	1前	必修6					
	看護教育学演習Ⅱ	2(30)	1後						
	看護教育学演習Ⅲ	2(30)	1後						
	看護教育学特別研究Ⅰ	4(60)	1後	必修12					
	看護教育学特別研究Ⅱ	4(60)	2前						
	看護教育学特別研究Ⅲ	4(60)	2後						
看護管理学分野	看護管理学演習Ⅰ	2(30)	1前	必修6					
	看護管理学演習Ⅱ	2(30)	1後						
	看護管理学演習Ⅲ	2(30)	1後						
	看護管理学特別研究Ⅰ	4(60)	1後	必修12					
	看護管理学特別研究Ⅱ	4(60)	2前						
	看護管理学特別研究Ⅲ	4(60)	2後						
母性看護学分野	母性看護学演習ⅠA	2(30)	1前	必修6	必修6				
	母性看護学演習ⅡA	2(30)	1後						
	母性看護学演習ⅢA	2(30)	1後						
	母性看護学特別研究Ⅰ	4(60)	1後	必修12					
	母性看護学特別研究Ⅱ	4(60)	2前						
	母性看護学特別研究Ⅲ	4(60)	2後						
	母性看護学援助論Ⅰ(周産期医療ケア)◎	2(30)	1前	分野内自由	分野内自由				必修4
	母性看護学援助論Ⅱ(女性医療ケア)◎	2(30)	1前	分野内自由	分野内自由				
	母性看護学演習ⅠB◎	2(30)	1前						必修8
	母性看護学演習ⅡB◎	2(30)	1前						
	母性看護学演習ⅢB◎	2(30)	1後						
	母性看護学演習ⅣB◎	2(30)	1後						
	母性看護学臨地教育実習Ⅰ	3(90)	1後		必修6				
	母性看護学臨地教育実習Ⅱ	3(90)	2前		必修10				
	母性看護学実習Ⅰ◎	3(90)	1後						必修6
	母性看護学実習Ⅱ◎	7(210)	2前						
母性看護学課題研究Ⅰ	2(30)	1後							
母性看護学課題研究Ⅱ	2(30)	2前							
母性看護学課題研究Ⅲ	2(30)	2後		必修6	必修6				

区分	科目 ★CNS共通A、☆CNS共通B ◎CNS特定分野科目	単位(時間)	配当 (注)	必要単位数					
				修士論文コース	臨床教育者コース	母性CNSコース	老年CNSコース	精神CNSコース	
小児看護学分野	小児看護学演習Ⅰ	2 (30)	1前	必修6	必修6				
	小児看護学演習Ⅱ	2 (30)	1後						
	小児看護学演習Ⅲ	2 (30)	1後						
	小児看護学特別研究Ⅰ	4 (60)	1後	必修12					
	小児看護学特別研究Ⅱ	4 (60)	2前						
	小児看護学特別研究Ⅲ	4 (60)	2後						
	小児看護学臨床教育実習Ⅰ	3 (90)	1後		必修6				
	小児看護学臨床教育実習Ⅱ	3 (90)	2前						
	小児看護学課題研究Ⅰ	2 (30)	1後						
	小児看護学課題研究Ⅱ	2 (30)	2前		必修6				
	小児看護学課題研究Ⅲ	2 (30)	2後						
成人急性期看護学分野	成人急性期看護学演習Ⅰ	2 (30)	1前	必修6	必修6				
	成人急性期看護学演習Ⅱ	2 (30)	1後						
	成人急性期看護学演習Ⅲ	2 (30)	1後						
	成人急性期看護学特別研究Ⅰ	4 (60)	1後	必修12					
	成人急性期看護学特別研究Ⅱ	4 (60)	2前						
	成人急性期看護学特別研究Ⅲ	4 (60)	2後						
	成人急性期看護学臨床教育実習Ⅰ	3 (90)	1後		必修6				
	成人急性期看護学臨床教育実習Ⅱ	3 (90)	2前						
	成人急性期看護学課題研究Ⅰ	2 (30)	1後						
	成人急性期看護学課題研究Ⅱ	2 (30)	2前		必修6				
成人急性期看護学課題研究Ⅲ	2 (30)	2後							
成人慢性期看護学分野	成人慢性期看護学演習Ⅰ	2 (30)	1前	必修6	必修6				
	成人慢性期看護学演習Ⅱ	2 (30)	1後						
	成人慢性期看護学演習Ⅲ	2 (30)	1後						
	成人慢性期看護学特別研究Ⅰ	4 (60)	1後	必修12					
	成人慢性期看護学特別研究Ⅱ	4 (60)	2前						
	成人慢性期看護学特別研究Ⅲ	4 (60)	2後						
	成人慢性期看護学臨床教育実習Ⅰ	3 (90)	1後		必修6				
	成人慢性期看護学臨床教育実習Ⅱ	3 (90)	2前						
	成人慢性期看護学課題研究Ⅰ	2 (30)	1後						
	成人慢性期看護学課題研究Ⅱ	2 (30)	2前		必修6				
成人慢性期看護学課題研究Ⅲ	2 (30)	2後							
老年看護学分野	老年看護学演習ⅠA	2 (30)	1前	必修6	必修6				
	老年看護学演習ⅡA	2 (30)	1後						
	老年看護学演習ⅢA	2 (30)	1後						
	老年看護学援助論Ⅰ◎	2 (30)	1前						必修6
	老年看護学援助論Ⅱ◎	2 (30)	1前						
	老年看護学援助論Ⅲ◎	2 (30)	1後						
	高齢者ケアシステム論◎	2 (30)	1後	分野内自由	分野内自由				必修2
	老年看護学演習ⅠB◎	2 (30)	1後						必修4
	老年看護学演習ⅡB◎	2 (30)	1後						
	老年看護学特別研究Ⅰ	4 (60)	1後						
	老年看護学特別研究Ⅱ	4 (60)	2前	必修12					
	老年看護学特別研究Ⅲ	4 (60)	2後						
	老年看護学臨床教育実習Ⅰ	3 (90)	1後						
	老年看護学臨床教育実習Ⅱ	3 (90)	2前		必修6				
	老年看護学実習Ⅰ◎	2 (60)	1後						
	老年看護学実習Ⅱ◎	4 (120)	2前						
	老年看護学実習Ⅲ◎	4 (120)	2前		必修10				
老年看護学課題研究Ⅰ	2 (30)	1後							
老年看護学課題研究Ⅱ	2 (30)	2前	必修6		必修6				
老年看護学課題研究Ⅲ	2 (30)	2後							

区分	科目 ★CNS共通A、☆CNS共通B ●CNS特定分野科目	単位(時間)	配当(注)	必要単位数													
				修士論文コース	臨地教育者コース	母性CNSコース	老年CNSコース	精神CNSコース									
精神看護学分野	精神看護学演習ⅠA	2(30)	1前	必修6	必修6												
	精神看護学演習ⅡA	2(30)	1後														
	精神看護学演習ⅢA	2(30)	1後														
	精神看護学援助論Ⅰ●	2(30)	1前						必修6								
	精神看護学援助論Ⅱ●	2(30)	1前	分野内自由	分野内自由												
	精神看護学援助論Ⅲ●	2(30)	1後	分野内自由	分野内自由												
	精神看護学演習ⅠB●	2(30)	1前							必修4							
	精神看護学演習ⅡB●	2(30)	1後														
	リエゾン精神看護論●	2(30)	1後														
	精神科慢性期看護論●	2(30)	1後							選択2							
	精神看護学特別研究Ⅰ	4(60)	1後														
	精神看護学特別研究Ⅱ	4(60)	2前														
	精神看護学特別研究Ⅲ	4(60)	2後	必修12													
	精神看護学臨床教育実習Ⅰ	3(90)	1後														
	精神看護学臨床教育実習Ⅱ	3(90)	2前														
	精神看護学実習Ⅰ●	1(30)	1後		必修6												
	精神看護学実習Ⅱ●	2(60)	2前														
	精神看護学実習Ⅲ●	4(120)	2前														
	精神看護学実習Ⅳ●	2(60)	2前														
	精神看護学実習Ⅴ●	1(30)	2前														
精神看護学課題研究Ⅰ	2(30)	1後	必修6				必修6										
精神看護学課題研究Ⅱ	2(30)	2前															
精神看護学課題研究Ⅲ	2(30)	2後															
在宅看護学分野	在宅看護学演習Ⅰ	2(30)	1前			必修6	必修6										
	在宅看護学演習Ⅱ	2(30)	1後														
	在宅看護学演習Ⅲ	2(30)	1後														
	在宅看護学特別研究Ⅰ	4(60)	1後	必修12													
	在宅看護学特別研究Ⅱ	4(60)	2前														
	在宅看護学特別研究Ⅲ	4(60)	2後														
	在宅看護学臨床教育実習Ⅰ	3(90)	1後		必修6												
	在宅看護学臨床教育実習Ⅱ	3(90)	2前														
	在宅看護学課題研究Ⅰ	2(30)	1後	必修6													
	在宅看護学課題研究Ⅱ	2(30)	2前														
	在宅看護学課題研究Ⅲ	2(30)	2後														
公衆衛生看護学分野	公衆衛生看護学演習Ⅰ	2(30)	1前	必修6	必修6												
	公衆衛生看護学演習Ⅱ	2(30)	1後														
	公衆衛生看護学演習Ⅲ	2(30)	1後														
	公衆衛生看護学特別研究Ⅰ	4(60)	1後	必修12													
	公衆衛生看護学特別研究Ⅱ	4(60)	2前														
	公衆衛生看護学特別研究Ⅲ	4(60)	2後														
	公衆衛生看護学臨床教育実習Ⅰ	3(90)	1後		必修6												
	公衆衛生看護学臨床教育実習Ⅱ	3(90)	2前														
	公衆衛生看護学課題研究Ⅰ	2(30)	1後	必修6													
	公衆衛生看護学課題研究Ⅱ	2(30)	2前														
	公衆衛生看護学課題研究Ⅲ	2(30)	2後														
計				必18	必18			必28 (CNS22)			必28 (CNS22)	必26+選2 (CNS22)					
総計				必26+選4	必28+選2			必40+選6 (CNS38)			必40+選6 (CNS38)	必38+選8 (CNS38)					

(注)長期履修の場合は、実習科目(CNSコースの母性看護学実習Ⅰ～Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ～Ⅲ、精神看護学実習Ⅰ～Ⅴ、各分野の臨地教育実習Ⅰ～Ⅱ)並びに各分野の特別研究Ⅰ～Ⅲ及び課題研究Ⅰ～Ⅲについては、指導教員及び担当教員と相談のうえ、履修計画及びその進捗状況により順序性を考慮しつつ学年及び学期を変更できるものとする。ただし、当該実習(精神看護学実習Ⅰ～Ⅴを除く。)及び研究における各科目を同一の学期に履修することはできないものとする。



問い合わせ先

公立大学法人三重県立看護大学

事務局 教務学生課

〒514-0116

三重県津市夢が丘 1 丁目 1 番地 1

電話 : 059-233-5602

